

2022 年度 日本地学教育学会 総会資料

評議員会

8月21日(日) 16:00~17:30
島根県立産業交流会館1階多目的ホール

総 会

8月23日(火) 14:00~15:00
島根県立産業交流会館1階多目的ホール

総会式次第

あいさつ

久田健一郎 会長

議長選出

議事

I 報告事項

1. 2021年度日本地学教育学会事業報告
2. 2021年度日本地学教育学会収支決算報告および会計監査
3. 2022年度 役員選挙結果
4. その他

II 審議事項

1. 2022年度日本地学教育学会事業計画(案)
2. 2022年度日本地学教育学会予算(案)
3. その他

議長解任

I 報告事項

I-1 2021 年度事業報告

1. 総務

(1) 会員動向 (2022 年 6 月 30 日現在) :

正会員 409 名・正会員 (学生割引) 10 名・正会員 (シニア割引) 65 名・名誉会員 3 名

(2) 評議員会を, 2021 年 8 月 20 日 (金) オンライン会議システム (Zoom) を利用して開催し, 2020 年度の事業報告と収支決算報告が承認された。また, 2021 年度の事業計画および予算案について審議され, いずれも審議事項として総会へ送られ, 承認された。

(3) 2021 年 8 月 21 日 (土) オンライン会議システム (Zoom) を利用して総会が開催された。総会では, 2020 年度日本地学教育学会事業報告, 2020 年度日本地学教育学会収支決算報告および 2020 年度会計監査報告, 2021 年度役員選挙結果などの報告事項と, 2021 年度日本地学教育学会事業計画 (案), 2021 年度日本地学教育学会予算 (案) について審議され, いずれも承認された。

(4) 常務委員会を 2021 年 9 月 10 日 (金) Cisco Webex Meetings による Web 会議, 11 月 30 日 (火) Zoom Meetings による Web 会議, 2022 年 1 月 19 日 (水) Zoom Meetings による Web 会議, 3 月 24 日 (木) Zoom Meetings による Web 会議, 5 月 18 日 (木) Zoom Meetings による Web 会議, および 7 月 28 日 (木) Zoom Meetings による Web 会議の計 6 回開催した。また, メール会議を随時行い, 活動方針共有の徹底を図った。

(5) 2020 年度日本地学教育学会学会賞・優秀論文賞・若手学術賞・渡部景隆奨励賞・地学教育功労賞の授与が行われた。渡部景隆奨励賞, 地学教育功労賞は該当者なし。

【2020 年度若手学術賞】 松尾亮太郎・吉本直弘「降水を対象にした中学校理科教科書の内容分析—第 2 学年「気象とその変化」について—」地学教育, 第 73 巻第 4 号, 55-69 頁。

久森洸希・山崎博史・吉富健一「経験と観察活動後のリフレクションを重視した野外観察実習プログラム—理科教員志望学生の効果的な地層観察の視点獲得のために—」地学教育, 第 73 巻第 4 号, 89-106 頁。

【2021 年度学会賞】 2021 年度学会賞審査委員会が選考を行い, 川村教一氏、榊原保志氏、宮下治氏、の 3 名に学会賞

また, 2021 年度日本地学教育学会優秀論文賞・若手学術賞の授与に関しては, 地学教育第 74 巻第 3, 4 号合併号 (予定) が刊行された後に, 例年通り選考を開始する。

(6) 令和 3 年度大学入学共通テスト問題検討委員会 (委員長: 松本現) が本年度大学入学共通テスト問題について検討し, 評価をとりまとめた。

(7) 連合および関連学会等における活動

- ・ 日本地球惑星科学連合として活動, 同 2022 年大会を共催
- ・ 令和 4 年度全国理科教育大会 後援
- ・ 青少年のための科学の祭典 2021 後援
- ・ 第 55 回夏季大学「海洋と日本の気象・気候～観測から予測まで～」後援
- ・ 第 35 回天文教育研究会後援

- ・ 第 64 回粘土科学討論会共催
- ・ 朝永振一郎記念第 16 回「科学の芽」賞後援
- ・ 第 21 回こどものためのジオ・カーニバル 後援
- ・ 特定非営利活動法人地学オリンピック日本委員会協賛
- ・ 地学オリンピック日本委員会による地球科学普及講演会 「地球をぶらり」後援

2. 行事

(1) 当初 2021 年 8 月 21 日～23 日に東洋大学で開催を予定していた、2021 年度全国地学教育研究大会／日本地学教育学会第 75 回全国大会東京大会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ウェブ会議システム (Zoom) 等を利用して開催した。大会テーマは『変動する地球に生きるための地学教育』とし、基調講演として東洋大学社会学部教授の渡辺満久先生にご講演頂いた。一般口頭発表：18 件、テーマセッション：3 テーマ 9 件、e ポスターセッション：6 件、ジュニア e ポスターセッション：7 件であった。大会公式 HP 参加登録者数：145 名、大会 Zoom 参加者：124 名、e ポスター・ジュニア e ポスター参加者数：45 名、2 日目のミニ巡検参加者数：59 名、3 日目のポスト巡検参加者数：20 名と、大変に多くの参加があった。

(2) 2021 年 9 月 26 日 (日) に Zoom を利用して、日本地学教育学会支部イベント「おうちで地学 Vol.1 日本全国ジオパークめぐり in 萩」を開催した。

(3) 2021 年 12 月 5 日 (日) に Zoom を利用して、日本地学教育学会支部イベント「おうちで地学 Vol. 2」【著者と語ろう！】菅沼悠介 (2020)『地磁気逆転と「チバニアン」』を開催した。

(4) 2022 年 6 月 18 日 (土) に Zoom を利用して、日本地学教育学会支部イベント「おうちで地学 Vol. 3 『お試し！キニナルあの「教材」：Mitaka 編』」を開催した。

3. 編集

(1) 会誌の発行：「地学教育」第 73 巻第 4 号 (通巻第 371 号)、第 74 巻第 1 号 (通巻第 372 号) から第 74 巻第 2 号 (通巻第 373 号) までを刊行した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、第 74 巻第 3, 4 号 (通巻第 374, 375 号) が遅れ、次年度に合併号として印刷予定である。

地学教育編集委員会 (任期 2020 年 7 月 1 日～2022 年 6 月 30 日)：西浦慎悟 (委員長)・間處耕吉 (副委員長)・上栗伸一 (副委員長)・伊藤信成・佐藤鋭一・下井倉ともみ・土井徹・平田豊誠・山根悠介・山本順司・吉川武憲・吉富健一 (敬称略)。

新年度・地学教育編集委員会 (任期 2022 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日)：上栗伸一 (委員長)・平田豊誠 (副委員長)・伊藤信成 (副委員長)・佐藤鋭一・下岡順直・下井倉ともみ (敬称略)。

(2) 『みんなの地学』の編集：『みんなの地学』編集委員会が第 3 号の編集にあたり、2022 年度初めに発行予定で準備を進めた。『みんなの地学』編集委員会 (任期 2020 年 7 月 1 日～2022 年 6 月 30 日)：廣木義久 (委員長)・瀧本家康 (副委員長)・梅田真樹・菅原久誠・竹村英紀・中林俊明

(3) 『地学教育』特集号 (特集名：災害多発時代の地学教育) を企画し、2021 年 1 月 1 日から 4 月 30 日までの論文の投稿を受け付けた。特集号は、第 75 巻第 1 号に掲載予定で編集作業を進めている。

4. 広報

(1) 学会の活動内容を会員に伝え、また、会員が学会活動へ積極的に参加することを促すことを目的として、本年度以下の委員会が設置された。広報委員会：宮下 治（委員長）・吉富健一（副委員長）・小森次郎・竹下欣宏・藤平秀一郎・菅澤雄大（敬称略）。

(2) 日本地学教育学会ニュースレターを、2021年7月1日号から2022年5月27日号までの合計45回作成し、会員に配信した。

(3) 学会のホームページ (<http://www.age.ac/~chigakuk/>) に大会案内など各種関連情報を随時掲載した。

I-2 2021年度日本地学教育学会収支決算報告

2021年度(2021年7月-2022年6月)会計決算(収入)(案)				
収入の部				日本地学教育学会
科目	当初予算額 (円)	決算額 (円)	差額 (円)	備考
会費	2,475,200	3,020,300	545,100	
個人会費	2,335,200	2,879,500	544,300	一般333名,学生9名,シニア65名
購読会員	140,000	140,800	800	16件
雑収入	840,020	1,114,888	274,868	
前年迄会費	400,000	401,100	1,100	2020年度28件,2019年度11件,2018年度6件,2017年度3件,購読会員7件
成果刊行費関連	350,000	291,670	▲ 58,330	超過頁請求,別刷請求
著作権料・抄録料	90,000	100,134	10,134	
利息	20	30	10	
その他	0	321,954	321,954	東京大会返金
繰越金	4,664,339	4,664,339	0	
合計	7,979,559	8,799,527	819,968	
2022年6月30日締め会勢				
正会員	409			
購読有料会員	24			
購読無料会員	23			
学生	10			
在外	0			
在外学生	0			
シニア会員	65			
名誉	3			
合計	534			

2021年度(2021年7月-2022年6月)会計決算(支出)(案)

支出の部				日本地学教育学会
科目	当初予算額 (円)	決算額 (円)	差額 (円)	備考
大会費	300,000	300,000	0	
本部分担金	300,000	300,000	0	2022島根大会
成果刊行費	2,700,000	1,572,415	1,127,585	
地学教育	2,000,000	1,554,915	445,085	編集費, 発送費, オンデマンド作成費, J-Stage費用, 73巻4号から74巻2号まで
みんなの地学	700,000	17,500	682,500	原稿料
運営費	900,000	825,794	74,206	
事務委託費	750,000	721,841	28,159	国際文献社, 口座管理費
分担金	40,000	40,000	0	地球惑星科学連合, 地学オリンピック
運搬通信費	10,000	6,780	3,220	
封筒印刷費	30,000	0	30,000	
消耗品費	15,000	2,173	12,827	電卓
選挙費用	55,000	55,000	0	システム管理費
活動費	450,000	115,804	334,196	
常務委員会	100,000	0	100,000	
編集委員会	100,000	29,941	70,059	英文校閲
庶務委員会	10,000	0	10,000	
広報委員会	60,000	15,863	44,137	ホームページ管理費 パンフレット作成
支部活動費	180,000	70,000	110,000	おうちで地学謝礼
予備費	50,000	26,543	23,457	振込手数料, 郵便通知料金
次年度繰越金	3,579,559	5,958,971	2,379,412	
合計	7,979,559	8,799,527	▲ 819,968	

I-3 2022 年度 役員選挙結果

「役員選挙についての細則」(2019年8月17日一部改訂)に基づいて、2022年4月1日時点で会員原簿に記載されている正会員に被選挙権がある旨公示し、2022年6月23日(木)締め切りで投票が行われ、選挙管理委員会のもとで、2020年7月14日(木)に開票された。

会長(任期2022~2023年度)

*有効投票数199票/無効票0票

役員選挙についての細則12(1)「会長は、有効投票数の過半数を得たもの」を適用

川村 教一 得票196票

評議員(任期2022~2024年度)

*有効投票数194票/無効票0票

役員選挙についての細則12(2)「評議員は、支部ごとに有効得票数の最も多いもの1名、ただし、関東(東京)支部は、有効得票数順に3名まで」を適用

北海道・東北：木下 温

関東：池崎 文也

小泉 治彦

松本 現

中部：熊野 善介

近畿：林 慶一

中国・四国：林 武広

九州・沖縄：松井 智彰

監事(任期2022・2023年度)：

*有効投票数196票/無効票0票

役員選挙についての細則12(3)「監事は、有効投票数の過半数の信任を得たもの」を適用、

大辻 永 得票193票

II 審議事項

II-1 2022 年度「日本地学教育学会」事業計画（案）

1. 2022 年度全国地学教育研究大会／日本地学教育学会第 76 回全国大会島根大会を，2022 年 8 月 21 日（日）～24 日（水）島根県立産業交流会館「くにびきメッセ」で開催をする。また，同時期・同会場において、第 9 回 GeoSciEd 国際地学教育学会を共催する。
2. 会誌の発行：「地学教育」を J-STAGE 電子ジャーナル公開システムで発行して，国内外への研究成果の発信や研究評価の向上をはかる。第 74 巻第 3，4 号（通巻第 374，375 号）および，第 75 巻第 1 号（通巻第 376 号）から第 75 巻第 4 号（通巻第 377 号）までを刊行予定。合わせて，教育現場に携わる会員を対象とした，新雑誌「みんなの地学」を年 1 回発行する予定である。
3. 総会，評議員会，および常務委員会（6 回）を開催し，学会活動方針を審議する。
4. 広報委員会では，本年度においても現地講習会等々を企画開催し，会員の学会活動への積極的な参加，会員相互の交流，情報の共有などをはかる。
5. 会員数増および支部組織の活性化をはかる。
6. 学会賞・渡部景隆奨励賞・地学教育功労賞・優秀論文賞・若手学術賞など，各賞の選考および授与を行う。
7. 令和 5 年度大学入学共通テスト問題を検討し，評価をとりまとめる。
8. 連合および関連学会等における活動（予定）
 - ・ 日本地球惑星科学連合として活動，同 2023 年大会を共催
 - ・ 教科「理科」関連学会協議会シンポジウム共催
 - ・ 特定非営利活動法人地学オリンピック日本委員会協賛
 - ・ 第 9 回 GeoSciEd 地学教育特集号の刊行を検討する
9. その他

II-2 2022年度「日本地学教育学会」予算 (案)

2022年度(2022年7月-2023年6月)会計収支予算案

収入の部		日本地学教育学会
科目	当初予算額 (円)	積算内訳
会費	2,433,550	(409人*7000円)*0.85
雑収入	790,020	前年度までの会費400,000円, 地学教育関連 300,000円, 著作権90,000円 利息20円
繰越金	5,958,971	
合計	9,182,541	
支出の部		
科目	予算額 (円)	積算内訳
大会費	300,000	滋賀大会
本部分担金	300,000	
成果刊行費	3,800,000	
地学教育	2,500,000	編集費, 発送費, オンデマンド作成費, J-Stage費用, 74巻第3号から75巻4号まで, 地学教育アップロード費用
みんなの地学	1,300,000	編集費, 発送費, J-Stage費用 3号・4号
運営費	900,000	
事務委託費	750,000	国際文献社委託
分担金	40,000	地球惑星科学連合10000円 地学オリンピック30000円
運搬通信費	10,000	
封筒印刷費	30,000	
消耗品費	15,000	
選挙費用	55,000	オンライン選挙
活動費	450,000	
常務委員会	100,000	会議費, 消耗品
編集委員会	100,000	会議費, 消耗品, 英文校閲
庶務委員会	10,000	会議費, 消耗品
広報委員会	60,000	会議費, 消耗品, ホームページ管理費
支部活動費	180,000	@30,000*6支部
予備費	50,000	振込手数料等
来年度繰越予定額	3,682,541	
合計	9,182,541	

